

<わたしの旅ブックス 53>

異界にふれる ニッポンの祭り紀行

大石 始／著

ライター・大石始が各地を走り回り体験した、「日本の祭り」という異界——。



2023年5月21日発売予定

定価：1,485円（税込）

仕様：B6変型判 並製本 256ページ

日常を生き抜くために、非日常の旅をする—出会ったのは、多種多様な来訪神、踊り、祈り、そしてそれをつなぐ地域の人びとの姿。よそ者が地域の習俗に飛び込み、祭りとともに生きる住民とふれ合い見えたものとは。北は秋田男鹿半島から南は沖縄宮古島まで、全国18ヶ所の地域に伝わる祭りや年中行事を丁寧に取材し異界にふれた「非日常＝ハレ」の旅。

【目次】

- 恐ろしいけどありがたい男鹿の風物詩——ナマハゲ（秋田県男鹿市）
- 異形の人々が踊る羽州の奇習——加勢鳥（山形県上山市）
- 野菜で作られた獅子頭に農村のクリエイティビティを見る——棧俵神楽（新潟県新潟市）
- 巨大な龍蛇がロードサイドをゆく——脚折雨乞（埼玉県鶴ヶ島市）
- 二匹の鯉がさばかれる神仏混淆の儀式——まないた開き（東京都台東区）
- 笑顔溢れる大らかな農耕儀礼——徳丸の田遊び（東京都板橋区）
- 鹿ん舞から浮かび上がる「いのち」の多様性——徳山の盆踊り（静岡県川根本町）
- 祭りと共に生きる人々の強さと美しさ——吉原祇園祭（静岡県富士市）
- 夜明けの門前町に浮かび上がるもの——おわら風の盆（富山県富山市）
- 大青蛙が愛想を振りまく奇祭——蓮華会・蛙飛び行事（奈良県吉野郡吉野町）
- 二体の鬼が暴れ回る修正会の祭り——田遊び・鬼会（兵庫県加西市）
- 熊野信仰の聖地に始原の火が灯る——御燈祭り（和歌山県新宮市）
- かんこ踊り王国、三重を訪ねて——佐八のかんこ踊り（三重県伊勢市）、松ヶ崎かんこ踊り（三重県松阪市）
- 世界が目にする「地域のエンターテインメント」——石見神楽（島根県浜田市、大田市）
- 異形の男たちと泣き叫ぶ子供たち——ヨックパイ（鹿児島県南さつま市）
- 夏の南九州に華開く太鼓踊りの楽園——伊作太鼓踊り（鹿児島県日置市）
- 謎めいた火の祭りが世界を更新する——ケベス祭（大分県国東市）
- 集落の悪霊を祓う南島の来訪神——パーントゥ（沖縄県宮古島市）

大石 始 (Hajime Oishi)

1975年東京都生まれ。文筆家。旅と祭りの編集プロダクション「B.O.N」主宰。世界各地のダンスミュージックや祭りを追いかけて、地域と風土をテーマに取材・執筆を行っている。著書に『盆踊りの戦後史』（筑摩書房）『奥東京人に会いに行く』（晶文社）『ニッポンのマツリズム』（アルテスパブリッシング）『ニッポン大音頭時代』（河出書房新社）『南洋のソングライン 幻の屋久島古謡を追って』（キルティブックス）など。愛猫家。

ご返信先 Fax 番号：03-5395-5320 新刊注文メ切：5月7日

SHC 産業編集センター

販売促進部 柏木

TEL 03-5395-6133

〒112-0011 東京都文京区千石 4-39-17

https://www.shc.co.jp/book/

番線印

注文数

異界にふれる ニッポンの祭り紀行

大石 始

冊



ご担当者名

様

新刊委託
(配本後は注文扱い)

定価：本体 1,350円＋税 発行：株式会社産業編集センター
ISBN：978-4-86311-405-0 C0026

新刊注文書